

「直行便で行くベトナム世界遺産の旅」

中川 良一

10月よりベトジェットエアが、広島―ハノイ直行便を週2往復、水曜日と日曜日に就航します。広島発は午前9時、ハノイ発は未明の午前2時となる予定です。また8月15日より、日本人ノービザ滞在期間が、45日に延長され、ベトナム旅行がより便利になりました。

さて、広島を水曜日午前にたち、日曜日未明にハノイを出発する3泊4日の日程で、ベトナムで最も有名な世界遺産4カ所を巡る旅を紹介します。

水曜日の午後ハノイに到着後は、まず市内のタンロン遺跡を訪れます。この遺跡は11世紀から18世紀まで5代の王朝がここに都を置き、フランス植民地後には軍地拠点とされた歴史を見ることが出来ます。2010年に世界遺産に登録されました。



【タンロン遺跡】

2日目はハノイから2時間半バスに乗り、ハロン湾に向かいます。無数の奇岩が海上に浮かぶ、世界でもここにしかない風景が広がっており、世界遺産には1994年に登録されました。007シリーズ「トゥモロー・ネバー・ダイ」の有名な戦闘シーンの舞台にもなりました。観光船に乗りながら美味しい海鮮料理を堪能した後、車でハイフォン市空港へ移動し、飛行機(1時間10分)で世界的リゾート地であるダナンへ移動します。日本からはホテル三日月が進出しており、今年、藤井聡太将棋棋士が初めての海外で対局した大型リゾートホテルとして有名です。

3日目は、日本との関係が数千年続くホイアンに車で1時間かけて移動します。ホイアンは、無数のランタンが飾られた古都で、ディズニー映画「塔の上のラプンツェル」(2010)の風景に影響を与えたといわれており、世界遺産には1999年に登録されました。チャンパ王国の貿易港として16世紀以降に江戸幕

府との交易も盛んになり、日本人街もできました。今も日本人により建造された日本橋が残っています。

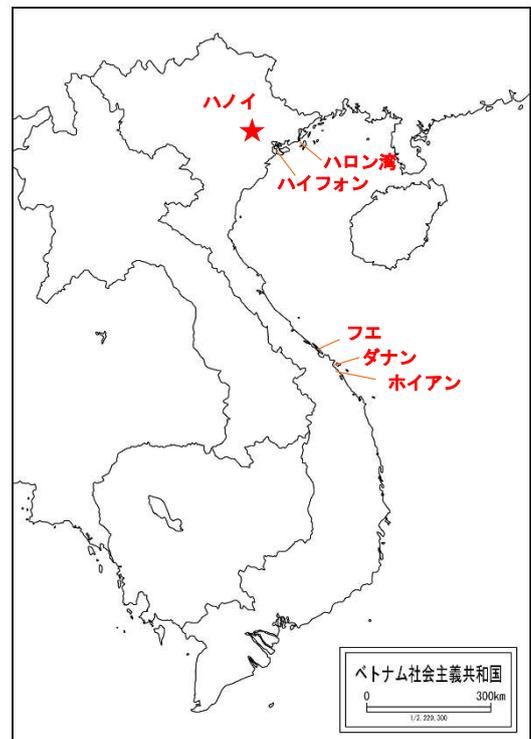
4日目は、東南アジア最長のハイヴァントネル(6280m)を通り、古都フエへ向かいます。ベトナムのラストエンペラーと言われるグエン王朝は、1802～1945年にかけて143年の長期政権を築きました。ここでは、華やかな宮廷文化の歴史を見ることが出来ます。世界遺産には1993年登録されました。

夕食後、フエ空港からハノイ国際空港に移動すれば、日曜未明の便で広島に帰れます。

世界遺産を巡る3泊4日のぜいたくな旅を楽しんでみませんか。



【フエ王宮】



こちらの記事は、中国新聞 SELECT

「最前線ビジネスサポーター発」にも一部掲載されました。